

2018. 10

バックボードご検討のお客様へ

より見栄えのいいバックボードを制作するために、最後までお読みください。

【バックボードデータ制作時の注意点】

データの作成にはAdobe IllustratorまたはPhotoshopが必要です。ご自身で準備されるのが難しい場合、チラシやパンフレットの作成で懇意にしているデザイナー、デザイン事務所に依頼されることをおすすめします。

また当店でもデザイン作成サービスを行っておりますので、参考にしてください。

http://www.hotdogger.jp/about_design.html

- **完全データ入稿をお願いします。**
 - 完全データとは当社にて手を加えたり、修正の必要のないデータのことです。
- **IllustratorやPhotoshopで作成し、ai, epsで入稿してください。**
- **Illustratorでデータ作成する場合の注意点**
 - ・ データは希望出力サイズ（実寸）で作成してください。
 - ・ CMYKモードで作成してください。
 - ・ データのフォントは全てアウトライン化してください。オブジェクトのロックも解除して下さい。
 - ・ レイヤーは統合して下さい。
 - ・ ファイル容量がギガレベルのデータは印刷に適しません。印刷用のデータは、約500メガ程度までにしてください。
 - ・ 属性のオーバープリントはチェックをはずしてください。ここにチェックが入っていると印刷されません。
- **配置画像の解像度について**
 - 写真等のデータは実寸で配置した時に150～200dpiになるようにしてください。大判出力の場合、パンフレット等の印刷物とは異なり、高解像度の画像を用いる必要はありません。
- **色について**
 - お客様と弊社のプリンター、モニターの環境が違うため、商品の仕上がり色イメージが異なることがあります。ご了承ください。

【ボード枚数分のファイルを作成した場合】

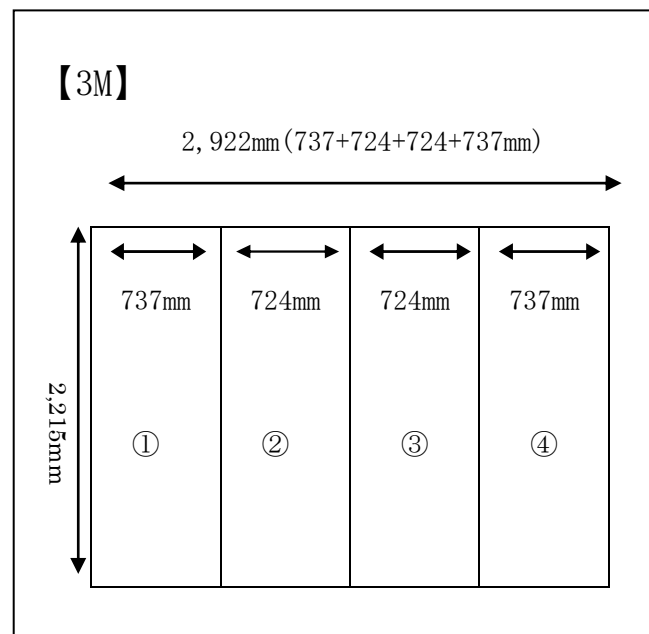
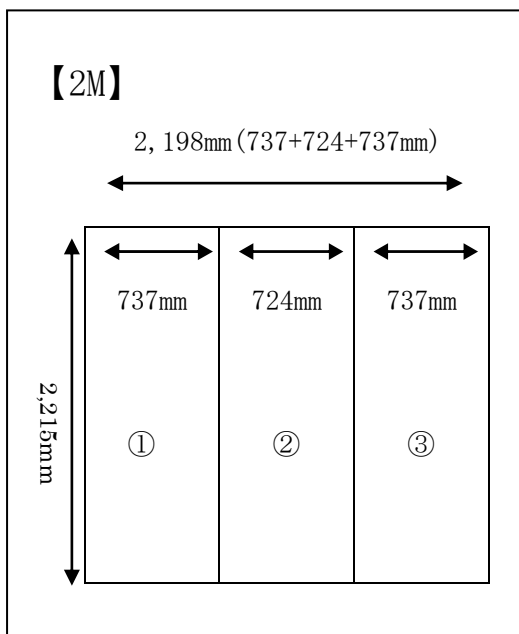
- 仕上がり全体がわかる PDF や JPG データをつけてください。
- データが何番目のボードかわかるように、データ内に番号を付ける。または、ファイル名に番号(画面の左から1, 2, 3, 4...)を付けて下さい。
- 柄が同じ場合は、共通のデータでもかまいません。左から何番目と何番目が共通なのかわかるように指示してください。同じ柄でも、左右幅が違う場合は別のデータが必要です。

【ファイルを分けない場合】

- 全体写真のような1枚もののデザインの場合、ボードごとにデータを分けなくてもかまいません。デザインの切れる位置にご注意ください。
- Illustrator では、6M以上のデータは1つのドキュメントに納まりません。データを2分割、もしくはボードごとに分割してください。

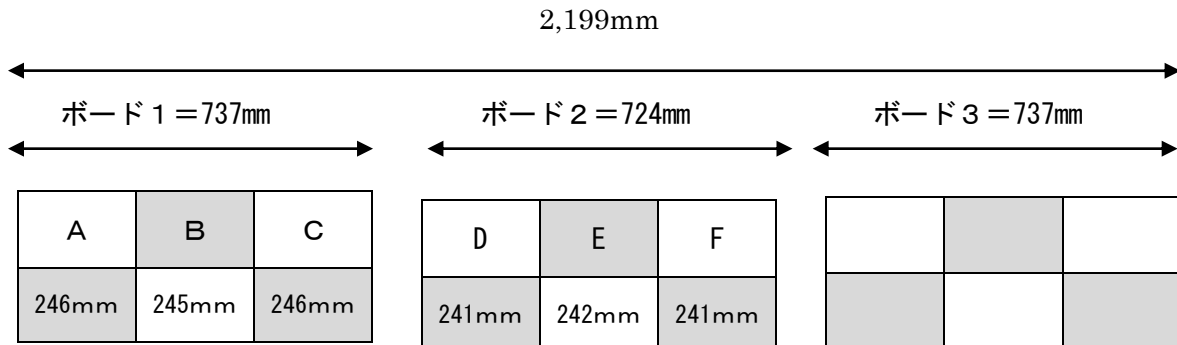
【ボードの隙間を目立たなくする方法】

バックボードの印刷は、2Mは3枚、3Mは4枚に分割して印刷します。それぞれの横幅は以下の通りですので、この1枚の中でデザインを完結させていただくと、切れ目が目立ちにくくなります。下図は2M、3Mの場合のイメージです。5M以上の場合も同様です。



バックボード・サイドなし

例えば格子のデザインにする場合、1桁のサイズを調整して、以下の例ではABCの合計横幅737mm、DEFの合計横幅724mmになるようにしてください。



全ての桁の横幅を同じにしようとすると、デザインが難しくなってしまいます。隣り合うABCの桁の横幅が10-20mmくらい異なっても全くわかりません。無理に同じ桁幅にしようとせず、一桁のサイズを変えて調整されることをおすすめします。

上記はデザインの一例です。一つの格子のサイズに制限があるわけではありません。ただし、このような形のデザインで入稿していただいても、隙間が完全に見えなくなるわけではありませんのでご了承下さい。

※市松模様のデザインで格子の枠を線で囲む場合、ボードの切れ目（各ボードの上下左右）にかかる細かい線は切り落とされます。線を入れたい場合は4mm以上の太さにし、線がボードの切れ目にかからないようにしてください。

◎参考

印刷データについてとテンプレートダウンロード

http://www.hotdogger.jp/about_print.html

バックボードについてよくある質問

<http://www.hotdogger.jp/faq/?cat=1>